

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団弘仁会 中根クリニック	代表者	清水千枝
事業所名	小規模多機能ホーム ももの花	管理者	中村将大
法人・事業所の 特徴	季節感のある手作りの食を楽しんでいただき、外出や行事参加を通し地域の方々との接点を大切にしています。 住み慣れた地域の中でその人らしい暮らしの継続が安心してできるよう医療法人として医療と連携を図りながら、介護を行なっています。		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	1人	0人	1人	1人	0人	3人	0人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	今後もしっかり説明し、事前アンケートをより分かりやすくまとめ、皆様に確認して頂く。	個々で事業所評価に参加は出来た。基本的理解が出来ていない職員も多く、指導の必要性も感じられた。	特に意見等ありませんでした。	ミーティングの機会を増やし、職員の意見を反映できるようにする。評価の内容の指導もしていく
B. 事業所のしつらえ・環境	鍵に関しては1点ご意見を頂き、玄関の鍵に関して、内側からも自動に開くように改善していく。	改善に向けて動いたが、構造上の問題で大規模工事の必要性あり。ご家族様に報告し理解を得た。	鍵の件は解決し、ご家族様に納得して頂いたなら良かった。臭い等も介護施設特有の感じも無く、清潔感も感じた。	大きな指摘は無かった。今後も継続して、臭い・音など不快の無い環境を整えて施設運営に努める。
C. 事業所と地域のかかわり	まず、地域との交流を増やし、地域の人に信頼される関係を作る。また相談しやすい環境を整えていく。	地域の研修会・民児協などにも都合のつく限り参加させて頂き、コロナ前の関りに近い形に近づけた。	特に意見ありませんでした。	より地域との交流の機会を増やし、事業所としても地域と繋がりを大切にし色々な交流が図れるよう考えていく。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	地域でのイベントが再開された場合には積極的に参加していく。新しい形での交流方法も検討していく。	今年は1度だけであったが、地区の夏祭りに参加出来た。それ以外参加できず多くの改善余地を残した。	感染症の状況も見て、外出の機会が増えると嬉しく思う。	地区のお祭りなどのイベントにも多く参加させて頂き、地域との交流を増やす。企画でも面白い物企画など立案していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	なるべく対面開催で出席人数を増やしながら、皆様に貴重な意見を伺い、運営に反映できるようにする。	今年度は対面開催で実施出来た。皆様の意見を反映できるように事前アンケートの取組みなど開始出来た。	なるべく多くの皆様にご意見を頂き、運営に活かして頂きたいと思う。事前のアンケートなどの取り組みは良いと思う。	年間予定表と同時にご家族様に担当をお願ひし、出席率を上げる。欠席のご家族様には事前に資料送付しご意見を頂きようにする。多くの意見を頂戴し、より良い運営に努める。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>年2回だけでなく、災害時にし っかり動けるよう研修等も追加 していく必要がある。 備蓄に関しても職員への周知・ 法人としても量や管理をしまつ かり話し合っていく必要がある。</p>	<p>年2回の防災訓練のみの実施で あった。備蓄の整備ももう少し法 人内で煮詰めるべきである。 地域との防災訓練も参加できな かった。</p>	<p>富士山の噴火など、大規模災害 時の対応なども今後整備して対 応して頂ければと思う。 避難場所や備蓄管理についても 教えて頂ければと思っている。</p>	<p>防災訓練・備品管理をしまつ かり取り組む。 BCPをしまつかり整備し、職員に も周知する。</p>
----------------------------	---	---	--	--